

「イノベーション・commons（共創拠点）」事例

国民に支えられる**国立大学等のキャンパスは、「国家的な資産」であり地域の貴重な「公共財」である。**学生や教職員だけではなく地域や産業界などの**社会の様々なステークホルダーと共に最大限活用して、新たな価値等を生み出す「共創拠点」を目指す。**

千葉大学

【墨田サテライトキャンパスにおける共創の場の形成】

- 墨田区と平成29年に包括的連携協定を締結し「公共資源を活かし再生する“街と一体となったキャンパスをつくる”」という基本構想のもと、令和3年4月に墨田区にキャンパスを開設した。
- 墨田区が旧すみだ中小企業センターを改修し、その施設を千葉大学が借用する形で、生活の全てのシミュレートに基づき分野横断的デザイン教育研究を展開する環境を整備した。墨田区は大小さまざまな製造業の工場が集まっている「ものづくりの街」であることから、本施設を活用して**地元企業等の技術開発や生活に密着した分野の研究支援など、地域産業振興・活性化の新拠点としての発展等を目指している。**
- 地域開放スペースを墨田区の新型コロナウイルスワクチン接種会場として使用している。**接種会場内の誘導サインを墨田区と共同作成する等、自治体のワクチン接種業務の円滑化に貢献している。**



コモンスタジオ



地域と大学の交流広場として、「キャンパスコモン」の整備を計画中

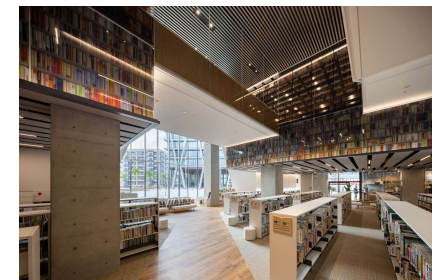
大阪大学

【箕面新キャンパスを市立図書館等と一体的に整備】

- 箕面新キャンパスと、学生寮、図書館、市の文化施設、駅前広場等を一体的に整備した。**「世界の言語・文化・社会に関する研究の集積拠点」「グローバル人材の育成の場」「学生・研究者・企業の世界進出拠点」として、世界と大学、市民を結ぶキャンパスを目指している。**
- **箕面市が所有する市立図書館の施設を大学が指定管理者として運営し、資産の有効活用を図るとともに、地域と大学の交流を促進。**市の蔵書に加え、大阪大学外国学図書館の蔵書約60万冊を収めており、地域に開かれた公立図書館と学術研究を支える大学図書館の二つの機能を持つ。
- 世界進出の足掛かりとして、箕面市、船場団地組合と「ベンチャー企業に関する連携・協力の覚書」を締結した。**大学発ベンチャー企業等を箕面船場周辺へ集積し、産学連携による技術研究シーズを多文化・多言語にわたって実装していくためのベンチャー育成・実証フィールド**を目指している。



箕面新キャンパス（外観）



箕面市立船場図書館
(大阪大学外国学図書館)

東北大学

【自治体・地元企業との強固な連携】

産学官が集う社会課題解決型キャンパスに共創の場としてサイエンスパーク型研究開発拠点を整備。「東北大学ビジョン2030」に基づく、グローバル化やデジタルトランスフォーメーション、そして持続可能でレジリエントなグリーン未来社会の構築に向けて、**キャンパス全体が有機的な連携した「共創」の拠点**を目指している。

青葉山新キャンパス

青葉山新キャンパスにおける国際集積エレクトロニクス研究開発センター（CIES）やマテリアル・イノベーション・センター、さらに「官民地域パートナーシップ」による設置予定の次世代放射光施設等を中心に、新しい技術と新しい産業分野の創出を社会へ提案することを目指し、産業界等との共同研究をはじめとする**産学共創と課題解決型研究を推進**。



国際集積エレクトロニクス研究開発センター（CIES）



サイエンスパーク型研究開発拠点

サイエンスパーク型研究開発拠点の整備に向け、都市計画、用地取得、地下鉄整備（総事業費約2,300億円）等で仙台市および宮城県と密接に連携。多様な学生・研究者や異なる研究分野との「共創」、地域・産業界との「共創」の促進等により、**地域・日本・世界の知・社会・産業のハブ**として**資金と人材が循環する自律的経営基盤**を目指す。

信州大学

【自治体・地元企業との強固な連携】

長野県の「**高等教育振興課**」の設置や、**信州大学による県庁への「信州大学・長野県連携室」の設置**等を通じて、**大学と県が密接に連携**。強固な連携体制の下、大学の高度な教育研究活動を通じ、産業活性化、人材育成、自然環境保全など、多方面で地域に貢献。

また、広域配置型キャンパスの利点を活かし、**地域企業や行政と密接に連携し、産業振興を推進**。

長野・上田キャンパス

キャンパス内に地方自治体が産学連携施設を整備し、信州大学と**地元企業との共同研究により、地域の産業振興**に貢献。



上田キャンパス

AREC：浅間リサーチエクステンションセンター



長野キャンパス

UFO Nagano：長野市ものづくり支援センター

南信州・飯田サテライトキャンパス

地元企業や自治体と連携し、**航空機産業創生のための教育研究活動を推進**。総合的な試験設備等を備え、研究開発から実証実験を一貫して実施。



フライトシミュレーター



キャンパスが立地する施設「エス・バード」

南信州広域連合、信州大学、長野県工業技術総合センター等が連携する産業高度化の拠点。

建物は、長野県の旧工業高校校舎を活用。